

# 町政運営(合併推進)の所信を問う

## 新たな民意の方向性を重視



後迫 哲矢議員

町長は3月7日第一回定例議会において、平成18年度の施政方針並びに予算説明要旨を述べ、その中で5つの重点政策と本町の合併問題を取り上げ、新合併特例法の期限内に合併するよう努力するとの所信表明をされた。先ず政策責任者として町政運営をどのように考えているのか。

### 町政運営の基本姿勢

町長

- ① 教育文化の充実
  - ② 活気あふれる産業の創出
  - ③ 若者の定住促進
  - ④ 安心して暮らせる福祉環境の整備
  - ⑤ スポーツ観光の町づくりに
- 以上5項目を基本政策として

して調和の取れた町づくりを町政運営の基本政策とする。

### 今まで取組んだ合併結果の所感(5項目について)

後迫議員

平成16年5月に合併の可否を問う住民投票が行われ、小差ではあったが単独の町として選択がされた。今回の施政方針で新合併特例法の期限内で合併を推進することだが次の5項目についてお伺いする。

一、町長は曾於南部四ヶ町の合併には反対ではなかったか。

町長

自立する町として反対であった。

後迫議員

二、国の行財政改革の一つに市町村合併があったが、その認識をどう考えていたのか。

町長

合併は行財政改革の一つだと考えていた。

後迫議員

三、新合併特例法内での合併は、合併賛成、合併反対者の両者に傷をつけるものではないか。

町長

町民の皆様には傷をつけるという考えではなく、時の流れの中で国、県、わが町の財政状況を長期展望した時、合併は避け通れないと考えている。

後迫議員

四、町長選挙のマニフェストで合併は理解されたと考えているのか。

町長

国や県内の合併状況は予想以上に進み住民投票時とは大きく変化している。町民の皆様も財政状況、地域社会の構成のあり方など時代の移り変わりの中で、合併への認識

も変わり理解もされたのではと思っている。

後迫議員

五、町長は、政策責任者としてどのように考えているのか。

町長

町政運営には様々な変化があり、時代に即応することが求められている。議会や町民の皆様には正しい情報を提供して理解をしていただくことが、政策責任者としての責務だとも考えている。

### 住民投票結果は無視か

後迫議員

住民投票の結果は、最大限の民意と考えるが、住民投票の結果を今どのように考えているのか。

### 民意の方向性を重視

町長

住民投票時点と今は状況が大きく変化して来て

いると判断している。現在の民意は合併を推進することを望んでいると感じているので「民意の示す方向性」を最も重要と考えている。

### 新合併法期限内の具体的計画を示せ

後迫議員

施政方針は平成18年度町政運営として示されているが、具体的推進計画があるのか。

### 県の示す合併推進構想を参考に

町長

具体的な計画については、県の構想、議会との合意形成、住民の皆様との将来像など最も望ましい方向性を見出した時、具体的計画を立てて推進する。